

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-2 (70 ~ 75)		H27 7/21 7/22								
標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	記事・破碎性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5												<p>割れ目には粗粒の珪石が分布しているが、29.66~29.70m 60°割れ目に固まって片状化が、前者の割れ目には面状に幅1~2cmの片状化、φ0.5~1mmの珪石(比14%)が分布している。</p>
71	27.06							37	13	CM		
0.5												<p>2.54R 6/24 戻付</p> <p>71.06~71.88 m : C<sub>2</sub> 30°と60~75°割れ目が交差し、交差部の一部では厚さ10~60%で掃出された砂岩状を呈す。粘土化部も珪石がわずかにあり。</p>
0.5	27.88		Gp									<p>71.88~72.11 m : CM 一部で珪石の砂岩部を掃出した部分で、珪石の分布は割れ目が多い。</p>
0.5												<p>72.48m~72.67m 割れ目に粘土化による硬質の砂岩を呈す。</p>
0.5												<p>72.57~73.16m は長さ10cm以上の硬質砂岩体</p>
73								26	15			<p>73.20~75.00m 21°と20~30°と60~70°割れ目の交差。交差部の一部で片状角状化が砂岩部と粘土部同様にあり。</p>
0.5												
74												
0.5												
75												<p>74.85~75.06m. 割れ目には20~30°粘土化が、</p>

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-2 (75 ~ 80)		H27 7/21 7/22							
標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
05					✓ b	✓ IV	β	2		CM	・75.65 ~ 76.92 m は内部に粘着割れ目・密着度の低い割れ目と粘着性の長さ2.26cm の2P
76	76.11							27	27		
05				75.9R 1/2 圧縮	✓ c	✓ V	B, Y	2		CL	76.11 ~ 77.02 m : CL 割れ目の交差: φ10 ~ 30 μm の片状・角状化あり、粘着性は硬質で交代はない。 ・一部の割れ目は φ2 ~ 5 μm の細碎粒に幅10%程度の粘着性あり、粘着性は存在する。 全体に長石の白濁化が認められる。
77	77.22		✓ Gp					02	0	9	77.02 ~ 79.47 m : CM 全体的に硬質で割れ目、77.43 ~ 78.00 m 間は粘着性の低い割れ目あり、一部は粘着性あり。粘着性は細片化し易い。 ・粘着性の低い割れ目にはマンガン酸塩を伴った割れ目の一部は黒褐色化あり。 ・77.21 m 交差する割れ目の一部で、幅2 ~ 3 μm の粘着性あり、粘着性は割れ目全体に連続する。
05					✓ b	✓ IV	β	2		CM	・77 m 深部は長さ10cm 前後の2Pの粘着性あり、一部は粘着性の低い割れ目と粘着性あり。 ・78.40 m 割れ目にはマンガン酸塩あり。
78								27	15		
05									15	15	・79 m 深部は長石斑粒の白濁化が多い。 ・79.10 m、40° 割れ目の幅10 ~ 15 μm が浸染化し、面状にφ0.5 ~ 1 μm 以下の微細な層(セリウム)が認められる。
79	79.00										
05	79.67				✓ c	✓ V	C, Y	3		CL	79.47 ~ 80.19 m : CL 30 ~ 30° と 70° 割れ目の交差、交差部の一部でφ10 μm 程度の粘着性あり。 ・70° 割れ目の一部に幅2 ~ 3 μm の浸染・粘着性あり。 ・79.83 ~ 79.90 m 割れ目には粘着性φ2 ~ 5 μm 粘着性あり、少量の粘着性あり。
80									0	8	

調査名		孔番・深度		観察日									
		h27B-2 (80 ~ 85)		H27 7/1 7/6									
標尺 F.D (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大寸長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
80	80.19		Gp	7.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	γ	3			C <sub>L</sub>	80.19 ~ 80.48 m: CM 一部のコア粘着度の低い割れ目を含む。割れ目挟在物は分布しない。
	80.48				✓	✓	✓	β	2				
81			Gp	7.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		80.48 ~ 81.12 m: CM 堅硬で粘着未見化の岩盤。割れ目には挟在物は分布しない。 粘着割れ目はなく、粘着度の低い割れ目は一部に分布有り程度。 全体に2~3% 暗緑色鉱物(緑泥石)が品出し。石英の白濁化は殆んど認められない。 81.10 ~ 81.35 m: 2~5%の斑点状に200μm 磁鉄屑と灰褐色鉄屑あり。酸化は伴わない。
	81.12				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
82			Gp	7.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		82.10 ~ 82.30 m: 正化変質が約45~10%の斑点状、~10%脈状の石英が品出し。上下に黒く硬質と見られる。 82.72 ~ 82.86 m: 27%の粘着度の低い割れ目を含む。
	82.30				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
83			Gp	7.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		83.12 ~ 83.79 m: C <sub>L</sub> 磁鉄屑は20~50割れ目あり。割れ目には酸化は進む。200μm 磁鉄屑あり。粘着性の硬質の「D」は酸化する。 83.46 m 以下は割れ目が多い。硬質の挟在物は殆んど分布しない。
	83.12				✓	✓	✓	δ	3	✓	✓		
84			Gp	7.5YR 1/3 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		83.79 ~ 84.43 m: CM 堅硬 84.35 ~ 84.38 m: 10~15割れ目。粘着性の硬質の「D」は酸化する。 一部は粘着割れ目。分布割合は粘着度が高くなるほど分布しなくなる。
	84.43				✓	✓	✓	β	2	✓	✓		
85			Gp	7.5YR 1/3 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		84.43 ~ 84.61 m: C <sub>L</sub> 硬質。粘着未見化。粘着割れ目は200μm 磁鉄屑と黒濁化。粘着性。 84.61 ~ 84.80 m: C <sub>L</sub> 硬質。粘着未見化。 一部は粘着割れ目。粘着性の硬質の「D」は酸化。粘着性の硬質の「D」は酸化。
	84.61				✓	✓	✓	γ	2	✓	✓		
85			Gp	7.5YR 1/3 灰褐	✓	✓	✓			✓	✓		84.80 ~ 85.00 m: C <sub>L</sub> 硬質。粘着未見化。 一部は粘着割れ目。粘着性の硬質の「D」は酸化。粘着性の硬質の「D」は酸化。
					✓	✓	✓			✓	✓		85.00 ~ 85.19 m: C <sub>L</sub> 硬質。粘着未見化。 一部は粘着割れ目。粘着性の硬質の「D」は酸化。粘着性の硬質の「D」は酸化。

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27/B-2 (85 ~ 90)		H27 7/22, 26								
標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大ニツ長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化
85	85.24				✓	✓	✓		C2		<p>85.15m, 50° 幅 5μm 軟質の圧電粘土層はむ。</p> <p>85.24 ~ 85.35m 砂状化の層を含む。40°前後の割れ目傾向</p> <p>85.50 ~ 85.58m : D ① 85.50 ~ 85.58m : 破砕帯 (主以断面 85.63m)</p> <p>85.58 ~ 85.63m : HJ 上端40°で直線的に、下端40°の一部不連続さの連続的に連続 9.5~10μm 硬さの岩片と岩片間の粘土部0.5割「粘土混じり」の 状態を示す。上端付近に幅5μm 石英脈が主以断面にむ 同方向に分布の0.5割途中で消滅する。 色調は灰黄(2.5Y 7/2)、厚さ55μm</p> <p>85.63 ~ 85.64m : Hc-2 下端は連続</p> <p>85.63 ~ 85.64m : Hc-2 40°上端は一部不連続さの連続的に連続、2~3mm 石英 粒、9.5μm 硬さの岩片を10% 含む軟質粘土(砂状)。 色調は淡黄(2.5Y 7/3)、厚さ5μm</p> <p>85.64 ~ 85.76m : HJ 上端40°で直線的に、下端32°幅 1~2μm 軟質の圧電(2.5Y 7/2) 粘土層に連続的に連続。主以断面と同方向に斜交する割れ目 中5~10μm に岩片化している。岩片間の一部は粘土の砂状化し、 幅1μm 黄色(2.5Y 7/6)粘土層、分布 85.68m, 5.3°の40° を以て分布、これ以降一部で10% 含む軟質粘土の砂状化。 全体は「粘土・砂混じり岩片状」を示す。 色調は淡黄(2.5Y 7/3) ~ 小灰場(7.5YR 7/3)、厚さ100~120μm</p> <p>85.76 ~ 87.47m : C2 86.52m 以下は硬さの「砂」が厚く硬さの「粘土」が薄く、粘着 性の一部は短柱状の砂を含む。前者は割れ目方向の一部 の砂状化。 85.76 ~ 86.00m は石英を10% 斑点状に幅2μm, 20°脈状に 含む。</p> <p>87.47 ~ 87.90m : CH 硬質、長石の一部は角状化。 一部は砂状化を含む。粘着度低く、12~15°の割れ目傾向を含む。</p>	
	85.28				✓	✓	✓		D			
	85.50					✓	✓	✓		C2		
	85.58					✓	✓	✓		D		
	85.63					✓	✓	✓		HJ		
86	85.64				✓	✓	✓		Hc-2			
	85.76				✓	✓	✓		HJ			
	86.52				✓	✓	✓		C2			
	87.47				✓	✓	✓		CH			
	87.90				✓	✓	✓		CH			
87	87.90				✓	✓	✓		C2			
	88.38				✓	✓	✓		HJ			
	88.43				✓	✓	✓		Hc-1			
	88.92				✓	✓	✓		C2			
	89.00				✓	✓	✓		HJ			
88	88.38				✓	✓	✓		Hc-1			
	88.43				✓	✓	✓		Hc-1			
	88.92				✓	✓	✓		C2			
	89.00				✓	✓	✓		HJ			
	89.26				✓	✓	✓		Hc-2			
89	89.26				✓	✓	✓		Hc-2			
	89.38				✓	✓	✓		HJ			
	89.42				✓	✓	✓		Hc-1			
	89.92				✓	✓	✓		C2			
	89.94				✓	✓	✓		HJ			
90	89.92				✓	✓	✓		C2			
	89.94				✓	✓	✓		HJ			
	89.98				✓	✓	✓		Hc-1			
	90.00				✓	✓	✓		Hc-2			
	90.00				✓	✓	✓		Hc-2			

調査名		孔番・深度		観察日							
		h27 B-2 (90 ~ 95)		h27 7/21 7/22 7/24 8/6							
標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
				2.5YR 4/2 灰褐色							90.94 ~ 91.69 m : D
	05			2.5YR 4/3 灰褐色	√ d	√ v	√ E	ε			<ul style="list-style-type: none"> <li>割れ目が風化に伴って砂状化部が稀に(20%)存在し、約5~20%の塊状「C」を若干含む。固結砂状部と基岩下部の砂状部を呈し、粗粒部はほぼ消滅した。90.91m以下は硬土の主要な部分と推定され、割れ目の一部は塊状化の「C」を呈す。</li> <li>90.50m 60° 厚2~3%の石英板が分布。</li> <li>91.47m以下は塊状部が割れ目と砂状部の一部からなる塊状部、黒褐色化する。</li> <li>91.09m ~ 91.20m 割れ目厚2.17mmの石英板を圧縮した「H」状に分布。前後の「C」とは異なる。20%。</li> <li>91.60m以下は厚3%の石英板が分布。20%の石英断面は厚さ0.5mmの石英板の方向に配列する。</li> </ul>
	91										
	05				√ c	√ v	√ E	δ			
	92		Gp		√ d	√ v	√ E	ε			<ul style="list-style-type: none"> <li>91.69 ~ 91.76 m : 硬岩帯 (主断面 91.70 m)</li> <li>91.69 ~ 91.70 m : Hc-1</li> <li>51° 上端は硬岩帯で、下端は連続的に連続した5%の石英板と約5%の石英板の存在(8%)。割れ目は開裂した「C」(2.5YR 4/2) ~ 灰褐色(2.5YR 4/3)を呈し、厚さ3~4mm。</li> <li>91.70 ~ 91.72 m : Hb</li> <li>上端51°は連続的に、下端51°は連続的に連続した5%の石英板と約5%の石英板(約20%)を含む軟質部「H」状に呈す。割れ目は開裂した「C」(2.5YR 4/3)を呈し、厚さ2~2.5mm。</li> <li>91.72 ~ 91.76 m : HJ</li> <li>上端53°は硬岩帯で、下端95°は連続的に連続した5%の石英板と約5%の石英板の存在(約20%)を呈す。割れ目は開裂した「C」(2.5YR 4/3)を呈し、厚さ30~40mm。</li> </ul>
	05				√ c	√ v	√ E	δ			
	93				√ c	√ v	√ E	δ			
	05			2.5YR 6/4 灰褐色	√ c	√ v	√ E	δ			<ul style="list-style-type: none"> <li>91.76 ~ 92.00 m : C1</li> <li>割れ目が風化に伴って砂状化部が稀に(20%)存在し、約5~20%の塊状「C」を若干含む。固結砂状部と基岩下部の砂状部を呈し、粗粒部はほぼ消滅した。90.91m以下は硬土の主要な部分と推定され、割れ目の一部は塊状化の「C」を呈す。</li> <li>92.09mの約10%の石英板が30°割れ目と切断面の「C」変位する。</li> <li>92.10m ~ 92.24m 44°は厚さ2~10%の石英板が割れ目面にマントル状に付着する。</li> <li>92.65m ~ 55°割れ目に厚さ2%の石英板が分布する。</li> <li>93.01 ~ 94.13m 硬岩帯「B」は割れ目には分布しない。</li> <li>94.26 ~ 94.38m 約5~10%の大型石英板が点状に一部は35~50割れ目と切断面に分布する。</li> </ul>
	94				√ c	√ v	√ E	δ			
	05				√ c	√ v	√ E	δ			
	95			2.5YR 6/4 灰褐色	√ c	√ v	√ E	δ			<ul style="list-style-type: none"> <li>94.00 ~ 94.26 m : CH</li> <li>全体が緑褐色化する。</li> </ul>

調査名		孔番・深度		観察日							
		H27 B-2 ( 95 ~ 100 )		H27 7/21 7/22 7/23							
標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種さ				
05											根元新鮮コアあり、一部割れ目あり風化は褐褐色に 変化する 存在物として主に割れ目に存在する。また割れ目挟 持物が認められる。
96								27 25			95.46m 5割れ目幅 10~15% の「褐色地」に 変化する。上層部に幅 2% 程度の砂状部を伴う 同脈は途中に消失する。
05											95.90~96.00m 割れ目幅 10~20% 前後の変質は褐色に 褐褐色、硬工」に変化した砂状部は分布しない。
97			Gp	259 Y 5/1 緑灰	✓ b	III B	β	2		CH	96.60~96.63m 割れ目幅 10% 程度の「淡褐色」に 幅 1~2% 砂状部は存在する。
05								27 15			97.36m 5割れ目に淡緑色調の細砂脈あり 切道下の 97.65m まで高層部、低層部は多量分布。
98	97.96							0 1		CM	97.96~98.48m: CM 高層部は割れ目による砂状化は認められず 粘土部は粘土部は「硬工」層の白濁化を伴う
05	98.48										98.48~101.31m: CL 割れ目による砂状化部は多量分布 粘土は粘土層に分布（硬工）層は粘土層と白濁化を伴う 98.48m 以降は粘土層、硬工層は粘土層に砂状化を伴う
99								0 9		CL	99.16~99.45m 長さ 10cm 前後の粘土層が中層部に 分布する。
05	99.44										99.44~99.90m は割れ目による風化・砂状化は 高層部から下層部まで一貫して分布する。
100	99.90			259 Y 5/1 緑灰	✓ c	V C	δ				特に 99.76m~99.90m には 40割れ目による砂状化・硬工 粘土の一部「硬工」は存在する。
100	100.00				✓ c	V B	Y	11	11		

調査名		孔番・深度		観察日										
		H27 B-2 (100 ~ 105)		4/27 7/22 7/3										
標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD
05	100.52		Gp	2.5GY 5/1 緑泥	✓	✓	✓	β	2			100.52 ~ 101.32 m. 新日頃の交代・砂状化の進んだ部分の硬砂・軟化の硬砂「C」主体で部分的に硬砂「B」の残留。粘土質の層化あり。 100.94 ~ 102.97 m. 101.23 ~ 101.82 m 間には新日頃の交代の粘土。中々~10% 岩片と並に「砂状性」呈す。		
101	101.32				9	✓	✓	δ	3	✓	✓		CL	
05	101.32					✓	✓	✓	β	2				101.32 ~ 102.05 m: CM 粘土質の軟弱物の分布あり。 一部は高層の低層の層化も分布あり。
102	102.05					✓	✓	✓		X	✓		✓	102.05 ~ 104.65 m: CL 103.170 ~ 103.70 m 硬砂「C」主体で硬砂「C」分布。 103.70 ~ 104.65 m 硬砂「D」と軟化の進んだもの。
05	102.41					✓	✓	✓						102.05 ~ 102.41 m. 約 10% 間隔で細く高層の低層の層化も分布あり。
05	102.71					✓	✓	✓	B					102.41 ~ 102.94 m. 硬砂「B」主体で硬砂「C」分布。一部は高層の低層の層化も分布あり。
103	102.94					2.5YR 6/2 灰緑	✓	✓	δ	3	✓		✓	102.94 ~ 103.17 m. 20~30% 新日頃の交代・砂状化の進んだもの。新日頃の硬砂「D」と軟化あり。
05	103.17						✓	✓	β	2				103.17 ~ 103.70 m. 割明Eの交代・砂状化の進んだもの分布は認められるが。一部は高層の低層の層化も分布あり。
05	103.56						✓	✓						103.70 ~ 104.65 m. 交代の進んだ岩片を含む全体。軟化あり。 如左の層化も2% 軟質の白色粘土と砂状の層化も認められる。
104	104.21					2.5YR 7/2 明黄灰	✓	✓	Y	3	✓		✓	104.65 ~ 107.15 m: CM 104.14 ~ 104.19 m 間硬砂。硬砂と粘土は均等に分布あり。
05	104.65				✓	✓	β	2	✓	✓				
105	104.65			2.5YR 7/2 灰緑	✓	✓	β	2	✓	✓	CM			

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-2 (105 ~ 110)		H27 7/22								
標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05												<p>104.14 ~ 104.19 m 上下端均 40° 割れ目に固結して、砂状に中 2~3% 細粒化あり。</p> <p>下端面は、白色粘土の 2% 以下、西側内全体に 0.5% 以下と微細石英鉄鉱石の点状分布。</p>
106								24	14			<p>105.70 ~ 106.03 m 割れ目交差し、中 20~30% 程度に粗粒化あり、各割れ目には砂状粘土が付着している。12.5% 未粗粒化面あり。</p>
05												<p>106.21 ~ 106.81 m 中層割れ目の多い中、硬度は高く、中層の透水性が分離・細粒化あり。硬度の低い部分に同じ割れ目代り。</p>
107			Gp					17	17			<p>107.68 ~ 107.73 m 割れ目交差し、中 10~20% 程度に粗粒化あり、各割れ目には砂状粘土が付着している。12.5% 未粗粒化面あり。</p>
05	107.15											<p>107.15 ~ 107.62 m: C2 割れ目には中 3~5% 程度に粗粒化あり、砂状に粗粒化傾向はあり、12.5% 未粗粒化面あり。西の部は透水性が分離・細粒化あり、中層鉄鉱石変質に粗粒化は伴っていない。</p>
108								14	14			<p>107.60 ~ 115.99 m: CM 層状に硬い。割れ目の多い。</p> <p>110.10 m ~ 114.05 m 間には、幅 10~30% 間隔程度の硬度の低い「中層割れ目」も含まれている。</p> <p>12.5% 未粗粒化。割れ目線は約 10% 程度に分布している。</p>
05												<p>108.57 ~ 108.60 m 40° 割れ目に幅 1% 程度に粗粒化あり。上層面には透水性が分離・細粒化あり、微細石英鉄鉱石が付着している。</p>
109								0	6			
05												
110								0	5			

115 00



調査名		孔番・深度		観察日									
		Hz7 B-2 (110 ~ 115)		Hz7 7/22 7/23									
標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05												110.40~110.51m 白色の「片岩割れ目」を以て分布し、 10cm割れ目化して。	
111									0	9			
05												111.37m 75~80°割れ目と10~20cmの砂状化 した変質岩30°割れ目化して。	
112			Gp	7.5FR 灰褐	6	IV	B	β	2	11	11	CM	
05													112.41~112.44m、50前後の割れ目を以て片岩化、 各片は軟化して。
113									0	4			
05													113.63~113.81m 白色の「片岩割れ目」を以て10cmの間隔で 細かく分布。各層の透水性が異なる。
114									0	9			
05	114.37			2.5FR 緑灰									114.37~115.70m 緑色系色調に転化する。
115									0	9			114.65m 80~85°割れ目の一部は厚さ10cmと厚さ0.5cm 以下の暗緑色粘土質の層が分布する。

調査名		孔番・深度		観察日									
		H27B-2 (115 ~ 120)		H27 1/22 1/23 1/26									
標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	114.70			2.6GY 5/1 緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2			CM	<ul style="list-style-type: none"> <li>115.33 ~ 115.70 m: 暗緑色鉱物(緑泥石)が10~20% 斑状に幅1%脈状に分布する。特に前者に分布が多い。</li> <li>115.70 m以下で橙色の正長石が晶出。全体の色調が橙色に転化。</li> </ul>
116	115.99			2.5YR 7/4 灰緑	✓ c	✓ V	✓ C	β	3	✓ 0	✓ 8	CL	<ul style="list-style-type: none"> <li>115.99 ~ 116.49 m: CL</li> <li>割れ目が細かく分布し、10~30% 全体に片状化(20%)、割れ目の多くは幅1~3%の細粒に細片化している。</li> <li>116.18 ~ 116.27 m: 石英の晶出が多く、全体が硬質となる。</li> </ul>
05	116.49												<ul style="list-style-type: none"> <li>116.49 ~ 117.47: CM</li> <li>塊状物の一部が割れ目0.5~1.0、一部は幅1~2%の片状化。部片状部は10~20%の割れ目分布する。</li> <li>また、割れ目交差部の一部は15~10%程度に片状化。一部は片状部。</li> </ul>
117			Gp	2.5YR 6/2 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 8	CM	<ul style="list-style-type: none"> <li>117.21 m: 割れ目幅2%で浸透する暗緑色鉄細脈(鉄泥石)が断続的に分布する。その上盤部約10%は弱く風化した透輝色に部分的に岩化は伴わず。</li> </ul>
05													<ul style="list-style-type: none"> <li>117.12 ~ 117.10 m: 30°前後と70°前後の割れ目が交差し、その一部は15~10%程度に片状化(20%)、砂化は片状化に伴って進む。</li> <li>117.23 ~ 117.43 m: 20~30°の割れ目が10~20%の間隔で同方向に分布。一部は割れ目幅が1%以下に同割れ目代(20%)。</li> </ul>
118										✓ 0	✓ 8		<ul style="list-style-type: none"> <li>117.47 m: 40°割れ目に幅1%の暗緑色鉄細脈(鉄泥石)が、90%以下の微細な浸透状で分布する。</li> </ul>
05										✓ 0	✓ 5		<ul style="list-style-type: none"> <li>117.47 ~ 120.00 m: CL</li> <li>30~40°割れ目10°前後同方向に1~3cm間隔で分布する。割れ目の多くは砂化して片状部。</li> <li>117.75 ~ 117.80 m: 幅1%以下の緑泥石が斑状に分布する。</li> </ul>
119										✓ 0	✓ 5		
05	119.47			2.5YR 7/2 明緑灰	✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	
120	119.97			2.5YR 6/2 灰緑	✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	
05	120.00												

調査名		孔番・深度		観察日							
		H278-2 (120 ~ 125)		H27 7/23, 26							
標尺 120 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地名	細区分				最大コア長 ROD	岩級区分	破碎度区分	<b>基盤岩コア観察カード</b> 記事・破碎性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ				
	120.53 120.65 (位置不明)										堅硬 30~50°割れ目が1層同方向に分布する。 白片状の中層割れ目が多量に同方向に分布し、1/2~9割れ目で分離している。一部は2層同方向に分布する。 割れ目充填物は分布しない。
	120.63 120.65									120.63~120.65m: 破碎帯 (主に断面120.65m) 120.63~120.65m: Hb 上部12~32%の塊状で、下部32%は連続的に連続。粒径30%の石英、中層10%の石英、計20%程度を含む軟質な「結核状」を呈する。色調は黄-赤(2.5GY6/1)。厚さ15~25% 120.65m: Hc-1 32%以下端部で連続的に連続。石英は片状の「結核」を含む軟質粘土(2.5GY)。色調は黄-赤(2.5GY6/1)。厚さ1~3%	
	121.03										120.65~121.03m: CM 堅硬、P-割れ目が多量に塊状物は分布しない。 上部は塊状の緑泥石に赤鉄鉱を呈する。白化は少ない。 白片状の中層割れ目は同方向に分布し、1/2~9割れ目で分離している。
	121.03										121.03~122.23m: CH 堅硬、割れ目が少なく、柱状~長柱状(長さ200~250μm)のP-3が分布する。 粒径30%の塊状、緑泥石、赤鉄鉱を多く含む。色調は緑黄色帯である。
	122.23 122.42										122.23~122.42m: CL 上部は1/2割れ目の連続。中層に割れ目の一部が褐化している。 白片状の中層割れ目は1/2割れ目で分離し、細粒化している。
	122.42 122.97										122.42~122.97m: CM 堅硬で割れ目。一部は1/2割れ目で分離している。中層割れ目は全割れ目厚に褐化が認められ、塊状物は分布している。 15~10%の橙色の細長石英結晶が点在し、白濁化した石英はほとんど分布しない。
	122.97										122.97~133.41m: CL 堅硬、白化に変質した褐色の割れ目が多量に分布し、60~70°割れ目が同方向に1~5cmの間隔で分布する。 割れ目充填物はほとんど分布しない。
	133.41										133.41~125.38m: CM 一部は断面の底に割れ目や中層割れ目が分布し、1/2割れ目で分離し、細粒化が認められる(分離・細粒化しているものあり)。 125%未満の風化・未変質の長石の白濁化した塊状物は認められる。 全体に1~2%の暗緑色の緑泥石と赤鉄鉱を含む緑黄色帯である。
	124.30										124.30m地層の厚さの厚化が認められ、24mの厚さの割れ目には人為的に完全な白化が認められる。

調査名		孔番・深度		H27 B-2 (125 ~ 130)		観察日		H27 7/23 9/4 9/16					
深尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ					風化	変質
126	125.38		Gp	2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ V	✓ B	β	2		CM	125.00~125.38m: 全コアの中間部が0.5~1.0%程度の同程度の 125.00~125.38m: 同程度の同程度の	
	125.70				✓ b	✓ V	✓ C	β	2			CL	125.38~125.70m: CL 最上層が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。125.38~125.70m: 同程度の同程度の。125.38~125.70m: 同程度の同程度の。125.38~125.70m: 同程度の同程度の。
	126.25				✓ b	✓ V	✓ B	β	2			CM	125.70~126.25m: CM 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。125.70~126.25m: 同程度の同程度の。
	126.75				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	126.25~126.75m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。126.25~126.75m: 同程度の同程度の。
	127.00				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	126.75~127.00m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。126.75~127.00m: 同程度の同程度の。
128	127.41		Gp	2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ V	✓ B	β	2			CM	127.00m: 同程度の同程度の
	127.80				✓ b	✓ V	✓ C	γ	3			CL	127.41~127.80m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。127.41~127.80m: 同程度の同程度の。
	128.25				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	127.80~128.25m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。127.80~128.25m: 同程度の同程度の。
	128.70				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	128.25~128.70m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。128.25~128.70m: 同程度の同程度の。
	129.15				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	128.70~129.15m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。128.70~129.15m: 同程度の同程度の。
129	128.82		Gp	2.5YR 6/2 灰褐色	✓ b	✓ V	✓ B	β	2			CM	128.70~129.15m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。128.70~129.15m: 同程度の同程度の。
	129.27				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	129.15~129.27m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。129.15~129.27m: 同程度の同程度の。
	129.72				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	129.27~129.72m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。129.27~129.72m: 同程度の同程度の。
	130.17				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	129.72~130.17m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。129.72~130.17m: 同程度の同程度の。
	130.62				✓ c	✓ V	✓ C	γ	3			CL	130.17~130.62m: CL 一部が2.5YR 6/2の割れ目0.5~1.0%程度の同程度の 分布。130.17~130.62m: 同程度の同程度の。

調査名		孔番・深度		観察日		H27							
		F27B-2 (130 ~ 135)		7/23 木、8/5、8/6									
標尺 (30 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破碎度区分	基盤岩コア観察カード 記事・破碎性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの種さ	風化					変質
	0.5			ス・YR 7/1 明褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	Y-2				CM	<p>下端側1/3部の割れ目径は幅1~3%の片状で、コア外周に分布は不均一。</p> <p>-130.79m、40°と北北東向きに50°割れ目径幅1~3%の細片が12cm。粘土は伴わない。また40°割れ目径幅1/3部の割れ目径は2cm。</p> <p>130.79 ~ 131.95 m : C<sub>2</sub> 割れ目径は風化の進行で砂化がほとんど。粘土部は粘土の浸染及び圧白色粘土細脈(中層以下)を伴う。</p> <p>131.95 ~ 132.89 m : D 粘土部は粘土の浸染及び圧白色粘土細脈(中層以下)を伴う。</p> <p>132.89 ~ 133.24 m : C<sub>2</sub> 一部が割れ目径10mm程度に砂化して粘土部は12cm、133.15~133.24mの一部は砂化の粘土(2cm)。</p> <p>133.24 ~ 133.49 m : D 砂化の粘土。粘土の浸染及び砂化は進行。変質は弱い。</p> <p>133.49 ~ 133.75 m : C<sub>2</sub> 20~30°と60~70°割れ目の浸染(割れ目径は2cm)。</p> <p>133.75 ~ 133.92 m : H<sub>2</sub> 45°と上端側直線の連続。石英粒中粘土は含有量の粘土(0.5%)。色調は明緑灰(10G%)、厚さ0.5~1mm。</p> <p>133.92 ~ 134.03 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.03 ~ 134.15 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.15 ~ 134.23 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.23 ~ 134.33 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.33 ~ 134.55 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.55 ~ 134.77 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p> <p>134.77 ~ 135.00 m : H<sub>2</sub> 上端側直線の連続。粘土は粘土の浸染及び砂化は進行。粘土の浸染及び砂化は進行。</p>
	130.79												
	0.5		Gp	10YR 7/2 15.5M 黄緑	✓ c	✓ v	✓ c	δ-2				C <sub>2</sub>	
	131.95												
	0.5			ス・YR 7/1 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ E	δ-3				D	
	132.89												
	0.5												
	133.24												
	0.5												
	133.49												
	0.5												
	133.75												
	133.80												
	0.5			10GY 6/1 緑灰	✓ c	✓ v	✓ E	δ-2				C <sub>2</sub>	
	133.92												
	0.5												
	134.03												
	0.5			ス・YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ E	Y-3				C <sub>2</sub>	
	134.15												
	0.5												
	134.23												
	0.5												
	134.33												
	0.5												
	134.55												
	0.5												
	134.77												
	0.5												
	135.00												

D<sub>2</sub>: フロット (粗粒状部)

調査名		孔番・深度		観察日								
		H27 B-2 (135 ~ 140)		H27 7/23 24/26 26								
標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	135.34		Gp	2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		<p>134.15~134.19 m: Hc-1 75°以下端の連続的に連続。石英粒岩片は殆ど全くな 軟質粘土(6%)。下層側はφ0.5%の黄鉄鉱が点在。 色調は上層側・利ノ灰(2.5GY5/1)。中央・明利ノ灰(2.6GY7/1)。 下層・暗利ノ灰(2.6GY4/1)で3色の病状模様と暗 厚20% 134.19~134.23 m: Hd 上層75°で連続的に下層側75°以下不明(50%可能 性)。φ5~20%の鉄片と鉄片。利ノ灰面には圧縮粘土 が分布して「粘土混じり岩片」に至る。推定20%。 色調は利ノ灰(2.5GY5/1)。厚30%以上。</p> <p>134.23~134.27 m: Cc 粗粒石英岩(1.0YR1)下層側へ侵入。境界直下部で20%。 利ノ灰17%とφ10%の黄鉄鉱。黄鉄鉱は利ノ灰に圧縮粘土 134.23~134.33 m: Do &amp; Gpの混在。色調は暗利ノ灰。 134.27~134.34 m: D 土質はφ10%の鉄片と暗利ノ灰。</p> <p>135.34~135.65 m: CL 硬さ「C」は主体に利ノ灰岩層部 - 硬さ「B」は上端の135.34~136.50 mに小分布 一部は暗利ノ灰と中層利ノ灰と含んでいる。 - 硬さ「B」は利ノ灰の風化・変質でφ5~10%の 高片を含む。利ノ灰は136.50~136.64 m、137.44 ~137.60 m、137.87~138.04 mに57長、1.5cm前後 の分布あり。 - 136.40 m以下でφ2~3%の暗利ノ灰・鉄片と暗利ノ灰と含んでいる。 - 136.54 m、35幅、10~15 cmの利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。 φ5%前後の利ノ灰と分布。両境界部も含んでいる。 - 137.44~137.53 mはφ5~11%の硬利ノ灰の細粒主体。137.53 ~137.60 mは鉄片と暗利ノ灰と含んでいる。 - 137.68 mは色調が変化。 137.68 m以下は利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。 137.68 m以下は暗利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。 - 138.20~138.30 m。利ノ灰の一部は暗利ノ灰。厚1~2%の 暗利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。 - 138.75 m。80°利ノ灰は厚1%の暗利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。利ノ灰は 138.87 m。30°利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。</p> <p>139.67 m。350利ノ灰の一部は暗利ノ灰。厚5%の暗利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。</p> <p>139.87~140.04 m。30°と80°利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。φ3~10% の暗利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。利ノ灰と暗利ノ灰と含んでいる。</p>
05	136.50		Gp	2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
136			全	2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
05	137.44		Gp	2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
137			Gp	2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
05	137.60			2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
138				2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
05	138.20			2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
139				2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
05	139.67			2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		
140				2.5YR 7.5/2	✓	✓	✓	3		D		